

広報しまんと

SHIMANTO



No.201
2022

1



四万十市で初のフレイルサポーターの誕生!
(P28に関連記事)

日常の暮らしに利用する「生活道路」は、車だけでなく、歩行者や自転車利用者も通行しています。市では、多様な利用者の安全を確保するため、生活道路の整備や交通安全活動を推進しています。

子どもから
お年寄りまで

安心して歩ける**道**づくりを目指します

県内初

「スムーズ横断歩道」を仮設置



11月19日、速度超過や抜け道として通行する行為の抑制効果等の検証のため、市立中村小学校4年1組20名の児童と一緒に「スムーズ横断歩道」の設置作業を行いました。

スムーズ横断歩道は、中村小学校と中学校の間の市道（幅5m・延長11mの区間）を最大20cm盛り上げ、通過車両の速度を抑制し、一時停止を促す構造となっています。

実証実験は12月5日まで行われ、撮影した動画などを活用し、車両速度の分析や利用者等へのアンケート調査により、道路の安全性の向上につながるさまざまな対策を考えていく予定です。



子どもたちは、道路に高低差を付けるために使うゴム製の板の設置作業を行ってくれました。

児童の感想

- ・(この道は)車通ると思う。安全に通れるようになったらいい
- ・少し重かったし疲れました。事故が起きない道路になったらいいなと思います



交通ルール みんなで守って！ 歩行者の安全を確保 「スムーズ横断歩道」を使用した交通安全授業を開催

実証実験初日の11月22日には、同校4年2組の児童が「スムーズ横断歩道」を使用して交通安全の学習を行いました。まちづくり課から「スムーズ横断歩道」の設置目的について説明し、中村警察署、交通安全指導員と一緒に「横断歩道の正しい渡り方」についての安全教育授業を行いました。

中村警察署員からの話では、「手を挙げてドライバーに対し意思表示を行うこと」「右左右と車が来ていないかきちんと確認すること」や、当日が雨天だったこともあり、雨の日ならではの注意点など、大切なことを再確認しました。



「スムーズ横断歩道」を横断体験！



児童の感想

- ・いつも何気なく行っている左右確認を意識してするのは難しかった
- ・交通事故に遭わないよう気を付けて生活したい

いつも街頭指導をしている交通安全指導員からは、「交通事故は道路横断中に発生するケースが少ない。スムーズ横断歩道のような物理的デバイスを設置することで、交通事故防止を図ることはとてもいいことだと思います」との感想が聞かれました。

市では、交通事故のない社会を目指して関係団体などと協力し、市内交差点における街頭指導や交通安全教育、啓発活動等の取り組みを引き続き行っていきます。

●「スムーズ横断歩道」に関するアンケートご協力をお願いします

回答受付期間 1月20日(木)まで



問い合わせ先

- ・スムーズ横断歩道について  まちづくり課 道路管理係 ☎(34) 1116  (34) 0381
- ・交通安全教育について  環境生活課 市民生活係 ☎(35) 4147  (34) 7466

為松公園アンケートにご協力いただきありがとうございました

広報11月号でお知らせしました為松公園に関するアンケートについて、皆さまからたくさんの回答をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果、為松公園の利用目的に対して「花や緑などの自然を楽しむ」の回答が最も多く、桜やツツジなどの自然が豊かなところに魅力を感じていることが確認できました。

また、今後整備してほしいものでは「子どもたちが遊べる遊具」の回答が多く、自由意見では「昔は、頂上からの展望も良く、子ども連れの家族がよく遊んでいた。そうした明るさやにぎわいを取り戻してほしい」といった公園整備に期待を寄せる声や「いつもきれいにしてもらい、ありがとう」など、日ごろの公園管理に対しての感謝の言葉もいただきました。



毎年、桜の時期には多くの人でにぎわう為松公園ですが、皆さまの意見を参考にし、歴史、文化、豊かな自然を守りつつ、花木の育成や子どもの遊び場を確保するなど、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれる公園づくりに努めていきたいと思っております。

問い合わせ先  まちづくり課 計画係 ☎(34) 8150  (34) 0381